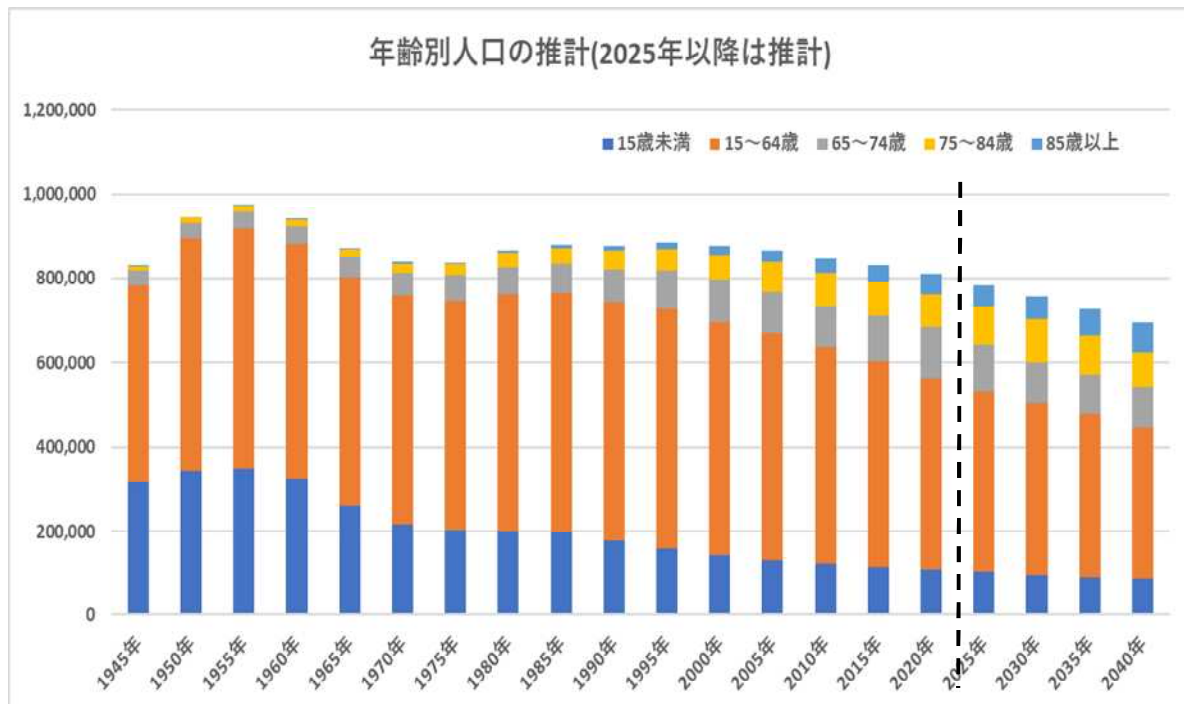


## 第2節 保健医療提供体制の現状

### 1 人口構造

#### 1. 総人口

- 本県の人口は2020年（令和2年）10月1日現在、811,442人であり、2015年（平成27年）国勢調査人口832,832人に比べ、16,956人減少しています。
- 国立社会保障・人口問題研究所の2018年人口推計（中位推計）によると、本県の将来人口は、2030年には757,242人、2040年には696,815人と引き続き減少していく見込みです。



（総務省統計局「国勢調査」）

- 医療圏ごとにみると、65歳以上人口については、北部、西部、南部では2025年をピークに減少しますが、中部・東部では微増傾向が2040年まで続きます。75歳以上人口については、全医療圏で2035年がピークですが、その後、中部、東部は横ばい、北部、西部、南部は減少局面に入ります。佐賀県の中でも、「中部・東部」と「北部・西部・南部」で異なる傾向を示しています。
- 今後、医療需要が特に高い75歳以上の人口は増加し、総人口に占める構成比が高まる中で、それを支える生産年齢人口は減少し続けることを、計画の前提とします。

人口の推移

		2020年		2025年			2030年			2035年			2040年			2045年	
		人数	構成	人数	構成	増減率 (対2020)	人数	構成	増減率 (対2020)	人数	構成	増減率 (対2020)	人数	構成	増減率 (対2020)	人数	構成
佐賀県	総人口	810,484		784,789		▲ 3.2	757,242		▲ 6.6	728,170		▲ 10.2	696,815		▲ 14.0	663,781	
	15~64歳	451,802	55.7	426,949	54.4	▲ 5.5	406,369	53.7	▲ 10.1	386,308	53.1	▲ 14.5	359,846	51.6	▲ 20.4	335,720	50.6
	65歳以上	248,363	30.6	254,010	32.4	2.3	253,190	33.4	1.9	249,925	34.3	0.6	249,606	35.8	0.5	245,311	37.0
	うち75歳以上	126,704	15.6	142,811	18.2	12.7	155,429	20.5	22.7	157,834	21.7	24.6	153,978	22.1	21.5	147,871	22.3
中部	総人口	342,451		334,637		▲ 2.3	325,990		▲ 4.8	316,583		▲ 7.6	306,084		▲ 10.6	294,689	
	15~64歳	196,738	57.4	188,184	56.2	▲ 4.3	180,639	55.4	▲ 4.0	172,835	54.6	▲ 4.3	162,475	53.1	▲ 6.0	153,420	52.1
	65歳以上	99,601	29.1	102,462	30.6	2.9	103,458	31.7	3.9	103,767	32.8	4.2	105,088	34.3	5.5	104,350	35.4
	うち75歳以上	50,734	14.8	57,577	17.2	13.5	62,767	19.3	23.7	63,966	20.2	26.1	63,438	20.7	25.0	62,360	21.2
東部	総人口	125,387		124,843		▲ 0.4	123,407		▲ 1.6	121,263		▲ 3.3	118,459		▲ 5.5	115,202	
	15~64歳	72,220	57.6	70,951	56.8	▲ 1.8	69,752	56.5	▲ 3.4	67,595	55.7	▲ 6.4	63,531	53.6	▲ 12.0	59,849	52.0
	65歳以上	34,865	27.8	36,288	29.1	4.1	36,695	29.7	5.2	37,381	30.8	7.2	39,138	33.0	12.3	40,101	34.8
	うち75歳以上	17,302	13.8	20,686	16.6	19.6	22,836	18.5	32.0	23,248	19.2	34.4	22,800	19.2	31.8	22,777	19.8
北部	総人口	123,329		117,546		▲ 4.7	111,652		▲ 9.5	105,655		▲ 14.3	99,395		▲ 19.4	93,066	
	15~64歳	66,199	53.7	61,146	52.0	▲ 7.6	57,227	51.3	▲ 13.6	54,067	51.2	▲ 18.3	49,652	50.0	▲ 25.0	45,639	49.0
	65歳以上	40,320	32.7	40,953	34.8	1.6	40,207	36.0	▲ 0.3	38,534	36.5	▲ 4.4	37,626	37.9	▲ 6.7	36,162	38.9
	うち75歳以上	20,469	16.6	22,873	19.5	11.7	24,819	22.2	21.3	25,107	23.8	22.7	24,002	24.1	17.3	22,074	23.7
西部	総人口	72,235		68,830		▲ 4.7	65,316		▲ 9.6	61,701		▲ 14.6	57,984		▲ 19.7	54,206	
	15~64歳	38,319	53.0	35,277	51.3	▲ 7.9	33,110	50.7	▲ 13.6	31,139	50.5	▲ 18.7	28,706	49.5	▲ 25.1	26,267	48.5
	65歳以上	23,657	32.8	23,960	34.8	1.3	23,340	35.7	▲ 1.3	22,400	36.3	▲ 5.3	21,718	37.5	▲ 8.2	20,939	38.6
	うち75歳以上	12,050	16.7	13,322	19.4	10.6	14,457	22.1	20.0	14,583	23.6	21.0	13,824	23.8	14.7	12,768	23.6
南部	総人口	147,082		138,933		▲ 5.5	130,877		▲ 11.0	122,968		▲ 16.4	114,893		▲ 21.9	106,618	
	15~64歳	78,326	53.3	71,391	51.4	▲ 8.9	65,641	50.2	▲ 16.2	60,672	49.3	▲ 22.5	55,482	48.3	▲ 29.2	50,545	47.4
	65歳以上	49,920	33.9	50,347	36.2	0.9	49,490	37.8	▲ 0.9	47,843	38.9	▲ 4.2	46,036	40.1	▲ 7.8	43,759	41.0
	うち75歳以上	26,149	17.8	28,353	20.4	8.4	30,550	23.3	16.8	30,930	25.2	18.3	29,914	26.0	14.4	27,892	26.2

(参考) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2018年中位推計)」

2. 性別・年齢階級別人口(2020年国勢調査)

- 5歳階級別にみると、最も多いのは「65~69歳」で62,347人(総人口の7.7%)、次いで「70~74歳」の59,918人(7.4%)、「60~64歳」の54,460人(6.7%)となっています。高齢者人口(65歳以上)を見ると、全体の30.7%となり、県内の総人口の約3割を占めています。また、後期高齢者(75歳以上)を見ると、全体の15.6%を占めています。
- これに対し、年少人口(15歳未満)が13.5%、生産年齢人口(15~64歳)が55.8%となっています。

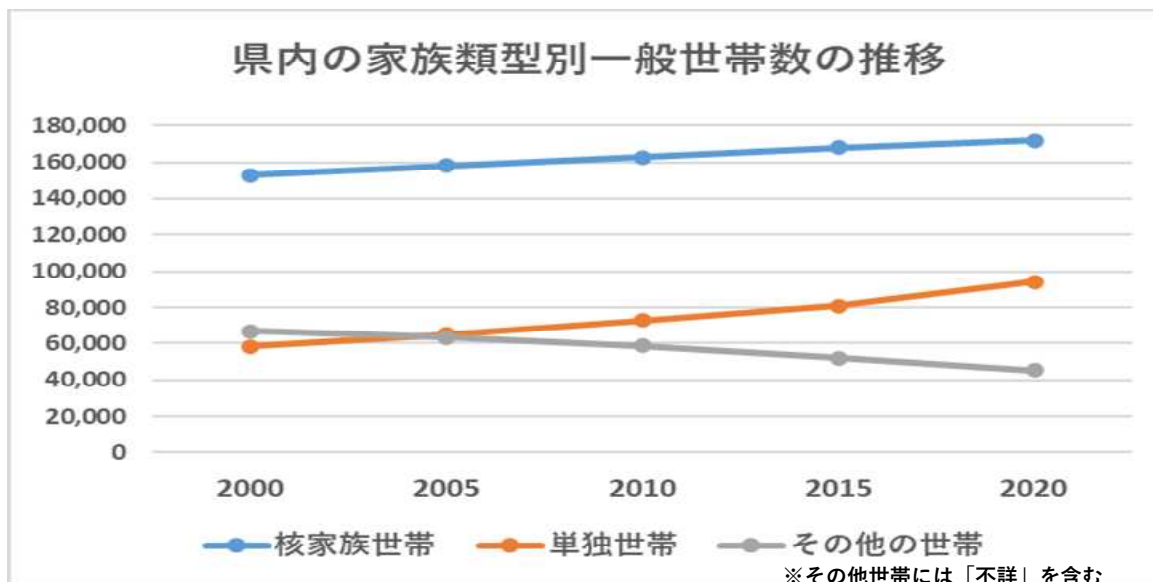
年齢(5歳階級)・男女人口(単位:人)

年齢 (5歳階級)	総人口	割合	男		女	
			人口	割合	人口	割合
合計	811,442	100%	384,451	47.4%	426,991	52.6%
0～4歳	32,426	4.0%	16,682	2.1%	15,744	1.9%
5～9歳	37,198	4.6%	19,078	2.4%	18,120	2.2%
10～14歳	39,550	4.9%	20,291	2.5%	19,259	2.4%
15～19歳	39,892	4.9%	20,326	2.5%	19,566	2.4%
20～24歳	35,649	4.4%	17,732	2.2%	17,917	2.2%
25～29歳	34,686	4.3%	17,536	2.2%	17,150	2.1%
30～34歳	39,141	4.8%	19,270	2.4%	19,871	2.4%
35～39歳	46,222	5.7%	22,850	2.8%	23,372	2.9%
40～44歳	51,114	6.3%	25,454	3.1%	25,660	3.2%
45～49歳	53,844	6.6%	26,665	3.3%	27,179	3.3%
50～54歳	48,687	6.0%	23,416	2.9%	25,271	3.1%
55～59歳	50,002	6.2%	24,141	3.0%	25,861	3.2%
60～64歳	54,460	6.7%	26,220	3.2%	28,240	3.5%
65～69歳	62,347	7.7%	30,166	3.7%	32,181	4.0%
70～74歳	59,918	7.4%	28,505	3.5%	31,413	3.9%
75～79歳	42,702	5.3%	18,156	2.2%	24,546	3.0%
80～84歳	36,014	4.4%	14,076	1.7%	21,938	2.7%
85歳以上	47,590	5.9%	13,887	1.7%	33,703	4.2%

(2020年国勢調査)

### 3. 世帯数

- 2020年国勢調査による一般世帯数は311,173世帯であり、前回の301,009世帯に比べ、10,164世帯(3.3%)増加しています。そのうち核家族世帯が171,795世帯で前回調査時から3,756世帯(2.2%)の増加、更に世帯員が一人の単独世帯が94,280世帯で前回調査から13,403世帯(16.5%)の増加となっています。



(総務省統計局「国勢調査」)

- 佐賀県の65歳以上の単独世帯数、75歳以上の単独世帯数は、ともに、今後増加することが見込まれています。75歳以上の単独世帯数と夫婦のみ世帯数の合計は、2020年には35,866世帯となっています。2035年には48,647世帯になり、その後、47,000世帯台で推移しますが、単独世帯の割合は高まることが予想されます。
- 在宅医療等の推進、地域包括ケアシステムの構築に向けては、入院患者の状態や医療提供体制のあり方だけでなく、入院患者、とりわけ高齢者の「住まい」を取り巻く環境も変わっていくことを前提とする必要があります。

#### 高齢者がいる世帯数の推移

	2020年		2025年		2030年		2035年		2040年	
	世帯数	%	世帯数	%	世帯数	%	世帯数	%	世帯数	%
全世帯数	301,594		299,533		295,255		288,896		280,428	
65歳以上の単独世帯数	36,511	12.1	39,514	13.2	41,688	14.1	43,302	15.0	45,048	16.1
75歳以上の単独世帯数	19,609	6.5	22,747	7.6	25,570	8.7	26,836	9.3	27,012	9.6
65歳以上の夫婦のみ世帯数	38,203	12.7	39,464	13.2	39,172	13.3	37,929	13.1	37,756	13.5
75歳以上の夫婦のみ世帯数	16,257	5.4	19,863	6.6	22,152	7.5	21,811	7.5	20,593	7.3
75歳以上の単独世帯及び夫婦のみ世帯(再掲)	35,866	11.9	42,610	14.2	47,722	16.2	48,647	16.8	47,605	17.0

国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」(2019年推計)

## 2 人口動態

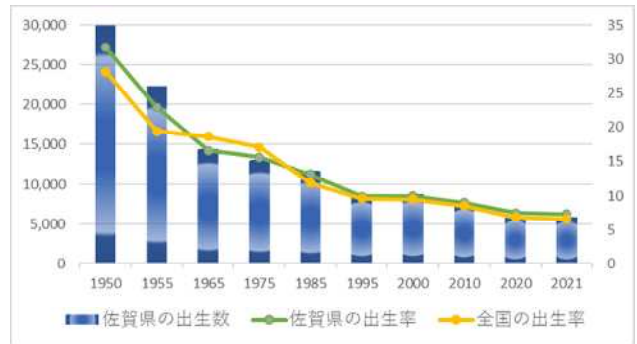
### 1. 出生

#### (1) 出生数及び出生率

- 本県の出生数は「第1次ベビーブーム」である1949年に最高値(出生数34,161人、出生率(人口千人当たり)36.0)を示しましたが、その後減少を続け、2021年には、最低の出生数5,853人(出生率7.3)となっています。

出生数と出生率の推移 (出生率は人口千対)

年次	佐賀県		全国	
	出生数	出生率	出生数	出生率
1950	29,996	31.7	2,337,507	28.1
1955	22,267	22.9	1,730,692	19.4
1965	14,443	16.6	1,823,697	18.6
1975	13,085	15.6	1,901,440	17.1
1985	11,705	13.1	1,431,577	11.9
1995	8,729	9.9	1,187,064	9.6
2000	8,745	10.0	1,190,547	9.5
2010	7,640	9.00	1,071,304	8.5
2020	6,004	7.5	840,835	6.8
2021	5,853	7.3	811,622	6.6



※1950年は母の住所地により、1955年以降はこの住所地による。

※1950年の全国には、不詳を含む。

(厚生労働省「人口動態調査」)

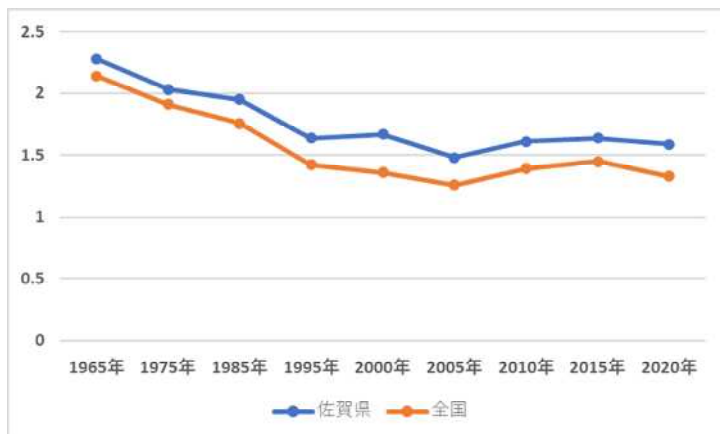
#### (2) 合計特殊出生率

- 本県の合計特殊出生率は、全国よりも高い値で推移しています。2020年の合計特殊出生率は1.59となっており、2005年に最低となった1.48から若干改善がみられますが2015年の1.64より低下しています。

※合計特殊出生率:15~49歳の女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が一生の間に生む子供の数の概念上の値。

合計特殊出生率の推移

年次	佐賀県	全国
1965年	2.28	2.14
1975年	2.03	1.91
1985年	1.95	1.76
1995年	1.64	1.42
2000年	1.67	1.36
2005年	1.48	1.26
2010年	1.61	1.39
2015年	1.64	1.45
2020年	1.59	1.33



参考(厚生労働省「人口動態統計」)

## 2. 死亡

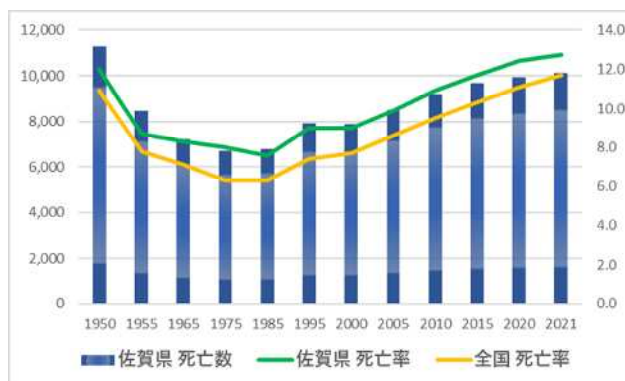
### (1) 死亡数及び死亡率

- 本県の2021年の死亡数は10,145人で、死亡率(人口千人当たり)は12.7(全国平均11.7)となっています。
- 死亡率だけみると、いずれの年も全国平均をかなり上回っていますが、年齢調整死亡率(2020年:9.6)で比べてみると全国の死亡率とほぼ同じことから、本県の死亡率が高いのは高齢人口の割合が高いことによるものと思われます。

死亡数と死亡率の推移 (死亡率は人口千対)

年次	佐賀県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
1950	11,322	12.0	904,876	10.9
1955	8,515	8.7	693,523	7.8
1965	7,267	8.3	700,438	7.1
1975	6,728	8.0	700,275	6.3
1985	6,811	7.6	752,283	6.3
1995	7,947	9.0	922,139	7.4
2000	7,899	9.0	361,653	7.7
2005	8,546	9.9	1,083,796	8.6
2010	9,212	10.9	1,197,012	9.5
2015	9,702	11.7	1,290,444	10.3
2020	9,963	12.4	1,372,755	11.1
2021	10,145	12.7	1,439,856	11.7

(厚生労働省「人口動態統計」)



※年齢調整死亡率:人口構成の異なる地域間の死亡の状況を比較するために用いる指標で、その地域の年齢階級ごとの死亡率と昭和60年モデル人口(昭和60年人口をベースに作られた仮想人口モデル)を用いて地域ごとの年齢構成の違いを調整した死亡率。

### (2) 乳児死亡数及び乳児死亡率

- 本県の2021年の乳児死亡数(1歳未満)は11人、乳児死亡率(出生千人当たり)は1.9(全国平均1.7)となっており、全国平均を上回っています(高い方から全国19位)。
- 2021年の死因別の割合をみると、不慮の事故が54.5%、周産期に発生した病態が36.4%、代謝障害が9.1%となっています。

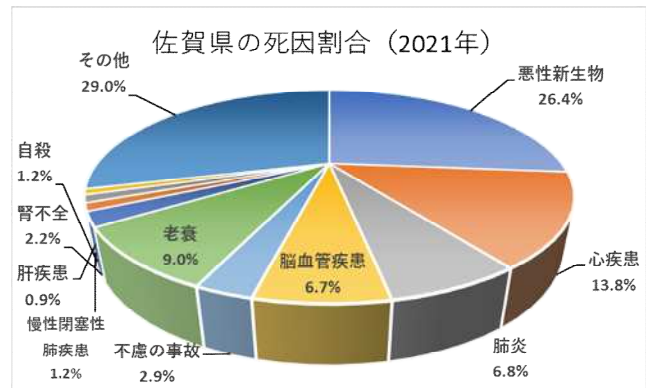
### (3) 死因別死亡数及び死因別死亡率

- 2021年の死因別死亡率では、「悪性新生物」が26.4%で第1位、次いで「心疾患」が13.8%、「老衰」が9.0%、「肺炎」が6.8%、「脳血管疾患」が6.7%となっています。
- 2007年以降、1位「悪性新生物」、2位「心疾患」に順位の変動はなく、2010年以降、3位は「肺炎」、4位は「脳血管疾患」となりましたが、今回の調査では、3位が「老衰」となり、4位が「肺炎」、5位が「脳血管疾患」となりました。

死因別に見た死亡数・死亡率 (人口10万対)

死因名	佐賀県 (2021)		全国(2021)	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全死因	10,145	1268.1	1,439,856	1172.7
悪性新生物	2,674	334.3	381,505	310.7
心疾患	1,403	175.4	214,710	174.9
肺炎	693	86.6	73,194	59.6
脳血管疾患	679	84.9	104,595	85.2
不慮の事故	298	37.3	38,355	31.2
老衰	912	114	152,027	123.8
腎不全	222	27.8	28,688	23.4
自殺	120	15	20,291	16.5
慢性閉塞性肺疾患	118	14.8	16,384	13.3
肝疾患	87	10.9	18,017	14.7
その他	2,939	367.4	392,090	319.3

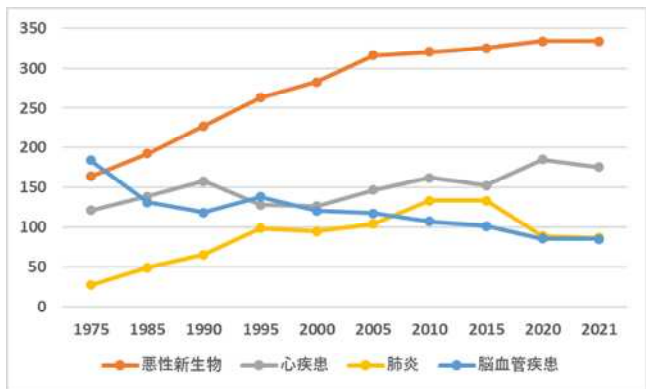
(厚生労働省「人口動態統計」)



佐賀県の死因別死亡率の推移 (人口10万対)

年次	悪性新生物	心疾患	肺炎	脳血管疾患
1975	163.5	120.8	27.5	183.7
1980	178.9	141.0	35.0	162
1985	192.2	138.2	49.4	130.8
1990	227.3	157.8	65.6	118.2
1995	262.9	127.5	98.4	137.6
2000	282.9	125.8	94.7	120.1
2005	316.5	146.3	103.3	116.7
2010	320.7	162.0	133.0	106.6
2015	325.5	152.1	133.1	100.9
2020	334.1	184.9	88.3	85.4
2021	334.3	175.4	86.6	84.9

(厚生労働省「人口動態統計」)



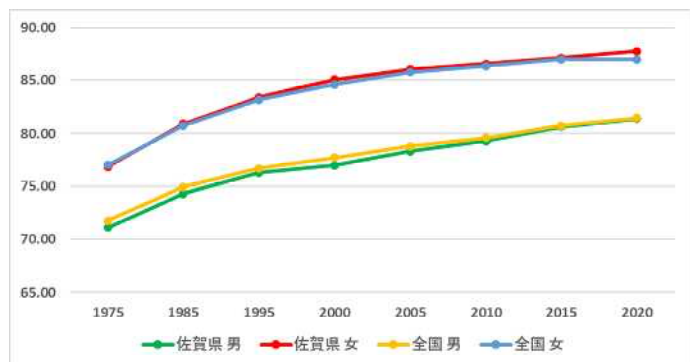
### 3. 平均寿命

- 本県の平均寿命(0歳の平均余命)は、2015年で男性81.41歳(全国81.49歳)、女性87.78歳(全国87.01歳)となっています。
- 年次推移をみると、本県女性は全国女性よりわずかに高い値を、本県男性は全国男性よりわずかに低い値をそれぞれ示しながらも、全国とほぼ同じ推移となっています。

#### 平均寿命の推移

年次	佐賀県		全国	
	男	女	男	女
1975	71.10	76.83	71.79	77.01
1985	74.32	80.94	74.95	80.75
1995	76.26	83.43	76.70	83.22
2000	76.95	85.07	77.71	84.62
2005	78.31	86.04	78.79	85.75
2010	79.28	86.58	79.59	86.35
2015	80.65	87.12	80.77	87.01
2020	81.41	87.78	81.49	87.01

(厚生労働省「都道府県別生命表」)



### 3 住民の受療状況

#### 1. 受療率（人口10万人当たり）

- 2020年の厚生労働省患者調査によると、本県の受療率は、入院1,523（全国960）、外来6,599（全国5,658）で、ともに全国の受療率を大きく上回っています。
- 入院と外来の別でみると、入院受療率は5歳以上の世代全てで全国の受療率を上回り、外来受療率は全ての世代で全国の受療率を上回っています。

※受療率：調査日（1日）に医療施設で受療した患者数を人口で除した10万人当たりの率。

	総数				男性				女性			
	入院		外来		入院		外来		入院		外来	
	佐賀県	全国	佐賀県	全国	佐賀県	全国	佐賀県	全国	佐賀県	全国	佐賀県	全国
総数	1,523	960	6,599	5,658	1,419	910	6,134	4,971	1,617	1,007	7,018	6,308
0～4歳	286	306	6,308	6,505	319	338	5,798	6,699	250	273	6,847	6,302
5～14歳	103	86	3,699	4,046	104	92	3,807	4,166	102	78	3,584	3,919
15～24歳	285	133	2,174	2,253	362	125	2,028	1,882	208	141	2,322	2,642
25～34歳	395	223	3,239	2,872	338	154	2,361	2,011	451	296	4,111	3,776
35～44歳	437	266	3,279	3,336	483	248	2,527	2,544	393	283	4,021	4,152
45～54歳	709	407	4,409	3,999	878	464	4,008	3,315	548	350	4,792	4,695
55～64歳	1,235	776	6,821	5,596	1,400	915	6,550	4,917	1,081	638	7,074	6,268
65～74歳	1,932	1,385	10,344	8,847	2,257	1,628	10,313	8,303	1,631	1,162	10,373	9,345
75～84歳	3,896	2,650	14,493	11,665	4,063	2,867	15,599	11,525	3,781	2,485	13,726	11,772
85歳～	7,992	5,433	11,974	10,151	7,795	5,393	13,402	10,795	8,073	5,451	11,386	9,856
65歳～(再掲)	3,714	2,512	11,970	10,044	3,547	2,518	12,348	9,718	3,836	2,507	11,695	10,295
75歳～(再掲)	5,439	3,568	13,544	11,166	5,187	3,534	14,938	11,332	5,585	3,590	12,743	11,059

注：（1）全国には、住所不詳を含む。（厚生労働省「患者調査」）  
注：（2）総数、男、及び、女、には、年齢不詳を含む。

#### 2. 患者の受療動向

##### （1）入院患者の概要（千人単位）

- 2020年の厚生労働省患者調査によると、佐賀県内に所在する病院及び診療所の入院患者総数は12.4千人（病院11.6千人、診療所0.8千人）、うち佐賀県内に住所を有する入院患者は11.4千人（病院10.6千人、診療所0.8千人）でした。

	総数	一般病床		療養病床		精神病床	結核病床			
		病院	診療所	病院	診療所					
総数	12.4	5.7	5.0	0.7	3.1	3.0	0.1	3.6	0.0	
住所地	県内	11.4	5.0	4.3	0.7	3.0	2.9	0.1	3.4	0.0
	県外	1.0	0.6	0.6	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0

(厚生労働省「患者調査」)

##### （2）疾病分類別の入院状況（千人）

- 疾病分類別にみた入院患者数は、「精神及び行動の障害」が2.8千人で最も多く、次いで、「神経系の疾患」の1.9千人、「循環器系の疾患」の1.7千人、の順とな



っています。

- 2021年の死因順位1～5位の疾病（「老衰」除く）の入院患者をみると、悪性新生物0.9千人、心疾患0.4千人、肺炎0.2千人、脳血管疾患1.0千人となっています。

傷病分類別入院患者数（二次医療圏毎）

2020年10月1日現在（単位：千人）

傷病分類	中部	東部	北部	西部	南部	県計
総数	4.5	1.6	1.8	1.2	2.6	11.6
I 感染症及び寄生虫症	0.1	0	0	0	0	0.1
II 新生物<腫瘍>	0.3	0.1	0.2	0.1	0.2	0.9
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	0	0	0	0	0.1
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	0.1	0	0	0	0.1	0.2
糖尿病（再掲）	0.1	0	0	0	0	0.2
V 精神及び行動の障害	1	0.5	0.4	0.3	0.6	2.8
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害（再掲）	0.5	0.2	0.2	0.2	0.3	1.5
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）（再掲）	0.1	0.1	0.1	0	0.1	0.4
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（再掲）	0	0	0	0	0	0.1
VI 神経系の疾患	0.8	0.4	0.2	0.1	0.5	1.9
VII 眼及び付属器の疾患	0	0	0	-	0	0
VIII 耳及び乳様突起の疾患	0	-	0	0	0	0
IX 循環器系の疾患	0.6	0.2	0.3	0.2	0.4	1.7
高血圧性疾患（再掲）	0	-	0	0	0	0.1
（心疾患（高血圧性のものを除く））（再掲）	0.2	0	0.1	0.1	0.1	0.4
虚血性心疾患（再掲）	0	-	0	0	0	0.1
脳血管疾患（再掲）	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	1
X 呼吸器系の疾患	0.2	0	0.1	0.1	0.2	0.6
肺炎（再掲）	0.1	0	0	0	0.1	0.2
X I 消化器系の疾患	0.2	0	0.1	0.1	0.1	0.4
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	0	0	0	0	0	0.1
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	0.6
関節症（再掲）	0	0	0	0	0	0.2
脊柱障害（再掲）	0.1	0	0	0	0.1	0.2
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	0.2	0	0.1	0	0.1	0.4
糸球体疾患、腎尿管間質性疾患及び腎不全（再掲）	0.1	0	0	0	0.1	0.3
乳房及び女性生殖器の疾患（再掲）	0	0	0	0	-	0
X V 妊娠、分娩及び産じょく	0	0	0	0	0	0.1
X VI 周産期に発生した病態	0	-	0	0	0	0.1
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	-	0	0.1
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	0	0	0	0	0.1
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	0.5	0.1	0.2	0.2	0.3	1.3
骨折（再掲）	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.9
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	0	-	0	0.1

（厚生労働省「患者調査」）

### （3）保健医療圏別の患者の流出率・流入率

- 2021年度の受療動向をみると、中部、北部、南部は、入院・外来ともに区域内の住民が区域内の医療機関を受診している割合（域内完結率）が高く、圏域としての完結性が見られます。

- 東部は、入院・外来ともに、福岡県（主に久留米市）との間で患者の流出・流入率が高くなっており、相互補完関係が見られます。
- 西部は、南部への一定の流出、長崎県（主に佐世保県北）からの一定の流入が見られます。

医療圏別の受療状況（流出率）（2021年度）

（単位：％）

			医療機関所在地									
			中部	東部	北部	西部	南部	県合計	福岡県	長崎県	その他	合計
患者 居住地	入院	中部	88.1	4.3	0.4	0.1	2.4	95.2	4.6	0.1	0.1	100.0
		東部	4.1	65.1	0.0	0.0	0.2	69.4	30.6	0.0	0.0	100.0
		北部	3.9	0.3	90.8	0.6	0.3	96.0	3.9	0.1	0.1	100.0
		西部	2.6	0.2	3.0	74.8	14.2	94.7	1.4	3.9	0.1	100.0
		南部	10.6	0.6	0.1	1.7	84.4	97.4	0.8	1.8	0.0	100.0
		県合計	37.6	10.5	14.7	8.6	20.8	92.3	6.8	0.9	0.0	100.0
	外来	中部	91.7	1.9	0.6	0.3	2.6	97.1	2.6	0.1	0.1	100.0
		東部	3.9	76.4	0.0	0.0	0.0	80.3	19.6	0.0	0.1	100.0
		北部	2.3	0.0	94.8	0.5	0.3	97.9	2.0	0.1	0.1	100.0
		西部	1.8	0.0	2.4	85.7	6.3	96.2	0.7	3.0	0.1	100.0
		南部	6.2	0.1	0.1	1.0	90.5	98.0	0.6	1.4	0.1	100.0
		県合計	39.9	10.8	16.4	7.8	20.2	95.1	4.1	0.6	0.1	100.0

（厚生労働省「医療計画作成支援データブック」）

医療圏別の受療状況（流入率）（2021年度）

（単位：％）

			患者居住地									
			中部	東部	北部	西部	南部	県合計	福岡県	長崎県	その他	合計
医療 機関 所在地	入院	中部	86.3	1.4	1.6	0.7	5.8	95.7	3.1	0.4	0.8	100.0
		東部	11.6	60.9	0.4	0.1	0.9	73.9	25.1	0.3	0.8	100.0
		北部	1.1	0.0	94.2	2.1	0.2	97.6	1.0	1.4	0.0	100.0
		西部	0.2	0.0	1.0	83.4	3.8	88.5	0.1	11.3	0.2	100.0
		南部	4.2	0.1	0.2	7.0	82.4	93.9	0.3	5.5	0.3	100.0
		県合計	36.5	9.2	14.9	10.3	21.0	91.8	5.0	2.7	0.5	100.0
	外来	中部	90.0	1.2	0.9	0.4	3.1	95.5	2.0	0.2	2.3	100.0
		東部	6.5	82.0	0.1	0.0	0.1	88.7	9.2	0.2	1.9	100.0
		北部	1.4	0.0	94.3	1.2	0.1	97.0	0.8	1.2	1.0	100.0
		西部	1.5	0.0	0.9	86.1	2.5	91.0	0.2	8.4	0.4	100.0
		南部	5.2	0.0	0.3	2.6	88.9	97.0	0.2	1.9	0.9	100.0
		県合計	39.7	10.4	16.4	8.3	20.0	94.9	2.1	1.4	1.6	100.0

（厚生労働省「医療計画作成支援データブック」）

## 4 医療機関の状況

### 1. 施設数

#### (1) 病院数

- 2021年厚生労働省医療施設調査によると、本県の病院数は97施設で、人口10万人当たり12.0施設となっています。これは、全国平均の6.5施設を大きく上回っています。
- 病院の内訳は、一般病院83施設(85.5%)、精神科病院(精神病床のみを有する病院)14施設(14.4%)となっており、結核病床のみの病院はありません。
- 二次医療圏別に見ると、人口10万人当たりの病院数は、全ての医療圏で全国平均を上回っており、南部、西部、北部が多くなっています。

〔 ※ 2023年3月31日現在の病院数は、95施設で、2021年と比較して2施設減少しています。 〕

#### (2) 一般診療所数

- 2021年厚生労働省医療施設調査によると、本県の一般診療所数は703施設で、人口10万人当たり87.2施設となっています。これは、全国平均の83.1施設を若干上回っています。
- 一般診療所の内訳は、有床診療所142施設(20.1%) (うち療養病床を有する診療所31施設(4.4%))、無床診療所561施設(79.8%)となっています。
- また、県内の一般診療所数の年次推移を見ると、ここ数年は増加傾向にありますが、有床診療所は近年減少傾向が続いています。二次医療圏別の人口10万人当たりの診療所数は、中部が最多、南部が最少となっています。

〔 ※ 2023年3月31日現在の有床診療所数は136施設となっており、2021年と比較して6施設減少しています。 〕

#### (3) 歯科診療所数

- 2021年厚生労働省医療施設調査によると、本県の歯科診療所数は408施設で、人口10万人当たり50.6施設となっています。これは、全国平均の54.1施設を若干下回っています。また、県内の歯科診療所数の年次推移をみると、2014年以降、徐々に減少しています。二次医療圏別の人口10万人当たり施設数は、中部が最多、西部が最少となっています。

医療施設数									2021年10月1日現在		
	病院			一般診療所				歯科診療所	人口10万対施設数		
	総数	一般病院	精神科病院	総数	有床	療養病床を有する診療所(再掲)	無床		病院	一般診療所	歯科診療所
全国	8,205	7,152	1,053	104,292	6,169	642	98,123	67,899	6.5	83.1	54.1
佐賀県	97	83	14	703	142	31	561	408	12.0	87.2	50.6
中部	37	32	5	310	56	10	254	179	10.9	91.0	52.5
東部	13	11	2	114	16	2	98	66	10.3	90.0	52.1
北部	17	14	3	103	21	7	82	62	14.0	84.8	51.0
西部	9	7	2	59	12	5	47	32	12.7	83.3	45.2
南部	21	19	2	117	37	7	80	69	14.4	80.1	47.3

※二次医療圏別の人口10万対施設数は医務課で計算 (厚生労働省「医療施設調査」)

佐賀県の医療施設数の推移									各年10月1日現在		
									人口10万対(2021年)		
		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	佐賀県	全国
病院		108	108	107	106	103	101	100	97	12.0	6.5
	うち精神	14	14	14	14	14	14	14	14	1.7	0.8
一般診療所		684	688	691	689	689	691	691	703	87.2	83.1
	うち有床	177	168	162	158	153	149	142	142	17.6	4.9
歯科診療所		426	420	421	416	412	416	409	408	50.6	54.1

※一般診療所のうち有床である場合の人口10万対の県の数値は医務課で計算 (厚生労働省「医療施設調査」)

## 2. 病床数

### (1) 病院病床数

- 2021年厚生労働省医療施設調査によると、本県の病院病床数は14,261床で、人口10万人当たり1,769.4床となっています。これは、全国平均の1,195.2床を大きく上回っています。
- 病床の種別で見ると、一般病床6,280床(44.0%)が最も多く、次いで、精神病床4,131床(28.9%)、療養病床3,796床(26.6%)、結核病床30床(0.2%)、感染症病床24床(0.2%)となっています。
- 病床種別ごとの人口10万人当たりの病床数は、一般病床779.2床(全国706.0床)、療養病床471.0床(全国226.8床)、精神病床512.5床(全国257.8床)、結核病床3.7床(全国3.1床)、感染症病床3.0床(全国1.5床)で、療養病床と精神病床が全国と比較してかなり多くなっています。

〔 ※ 2023年3月31日現在の病院病床数概数は14,032床で、一般病床6,362床、療養病床3,621床、精神病床3,995床、結核病床30床、感染症病床24床となっています。 〕

### (2) 一般診療所病床数

- 2021年厚生労働省医療施設調査によると、県の一般診療所の病床数は2,082床で、人口10万人当たり258.3床となっています。これは、全国平均の66.7床の約3.9

倍となります。

- 一般診療所の病床数のうち、療養病床数は273床（13.1%）で、人口10万人当たり33.9床となっています。これは、全国平均の5.0床の約7倍となっています。

※ 2023年3月31日現在の一般診療所病床数は、1,947床で、うち療養病床数は242床となっています。

### 医療施設病床数

2021年10月1日現在

		病院						一般診療所	
		総数	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	総数	療養病床
実数	全国	1,500,057	886,056	284,662	323,502	3,944	1,893	83,668	6,310
	佐賀県	14,261	6,280	3,796	4,131	30	24	2,082	273
	中部	5,641	3,121	1,111	1,401	-	8	837	82
	東部	2,391	732	853	772	30	4	224	17
	北部	1,979	846	518	611	-	4	301	58
	西部	1,132	400	398	330	-	4	176	54
	南部	3,118	1,181	916	1,017	-	4	544	62
人口 10万対	全国	1,195.2	706.0	226.8	257.8	3.1	1.5	66.7	5.0
	佐賀県	1,769.4	779.2	471.0	512.5	3.7	3.0	258.3	33.9

※一般診療所のうち療養病床の人口10万対病床数は、医務課で計算

(厚生労働省「医療施設調査」)

### 3. 病床利用率

- 2021年厚生労働省病院報告によると、本県の2016年1年間の病院の病床利用率は、一般病床80.7%（全国75.2%）、療養病床90.8%（全国88.2%）、精神病床89.0%（全国86.2%）、結核病床65.7%（全国34.5%）となっており、全ての病床種別において全国平均を上回っています。
- 二次医療圏別にみた場合、一般病床では西部が76.7%と最も低く、南部が84.7%と最も高くなっています。療養病床及び精神病床については、ほとんどの二次医療圏で85%を超えており、利用率が高くなっています。

### 4. 平均在院日数

- 2021年厚生労働省医療施設調査、佐賀県病院報告によると、本県の2021年1年間の病院の平均在院日数は、一般病床18.4日（全国16.1日）、療養病床108.1日（全国131.1日）、精神病床295.3日（全国275.1日）、結核病床74.2日（全国51.3日）、感染症病床8.2日（全国10.1日）となっており、療養病床、感染症病床を除き、全国平均より長くなっています。二次医療圏別にみた場合、特に東部が長くなっています。

圏域	全病床		一般病床		療養病床		精神病床		結核病床		感染症病床	
	病床利用率 (%)	平均在院日数 (日)	病床利用率 (%)	平均在院日数 (日)	病床利用率 (%)	平均在院日数 (日)	病床利用率 (%)	平均在院日数 (日)	病床利用率 (%)	平均在院日数 (日)	病床利用率 (%)	平均在院日数 (日)
全国	76.1	27.5	69.8	16.1	85.8	131.1	83.6	275.1	28.9	51.3	343.8	10.1
県全体	82.3	39.6	74.7	18.4	88.3	108.1	87.8	295.3	54.6	74.2	200.2	8.2
中部	78.6	30.8	72.7	17.5	84.4	123	86.1	237.2	-	-	336.5	7.8
東部	86.2	87.4	74.8	37.1	91.6	116.9	91.1	307.2	54.6	74.2	300.7	8.6
北部	81.5	36.7	77.8	17.7	91.6	77.9	76.6	213.9	-	-	227.5	8.9
西部	79.8	43.6	65	15.5	83.6	77.3	94.0	368.1	-	-	-	-
南部	87.4	42.8	81.1	17	90	133.5	92.9	498.0	-	-	-	-

※計数のない場合 -

(厚生労働省「医療施設調査」、佐賀県「病院報告」)

### 5. 公・民比率、1病院当たりの規模

- 2021年厚生労働省医療施設調査によると、佐賀県における病院開設者のうち国（国立大学法人、NHO、JCHO等）と公的（自治体、地方独法、日赤、済生会等）が占める割合は15.5%（全国18.5%）、医療法人が占める割合は79.4%（全国69.2%）となっています。病院病床ベースでは、国と公的が占める割合は27.5%（全国28.8%）、医療法人が占める割合は68.5%（全国56.6%）となっています。

#### 病院開設者の構成

2021年10月1日現在

		総数	国	公的	社会保険 関係団体	医療法人	その他 法人	個人
			全国	病院数	8,205	320	1,194	47
	構成比	100.0	3.9	14.6	0.6	69.2	2.5	1.7
佐賀	病院数	97	6	9	0	77	2	0
	構成比	100.0	6.2	9.3	0.0	79.4	2.1	0.0

(厚生労働省「医療施設調査」)

#### 病院病床の開設者別構成

2021年10月1日現在

		総数	国	公的	社会保険 関係団体	医療法人	その他 法人	個人
			全国	病院数	1,500,057	124,411	307,849	14,846
	構成比	100.0	8.3	20.5	1.0	55.8	2.9	0.8
佐賀	病院数	14,261	2,354	1,571	0	9,766	245	0
	構成比	100.0	16.5	11.0	0.0	68.5	1.7	0.0

(厚生労働省「医療施設調査」)

- 一般病院（病院から精神科病院を除く）の規模を比較すると、100床未満の病院が53.0%（全国40.6%）を占め、佐賀県は、病院数は多いものの、規模が小さい病院が多いことがわかります。

	病院数	病床数									
		20～29	30～39	40～49	50～99	100～149	150～199	200～299	300～399	400～499	500以上
全 国	7152	126	301	478	2004	1240	1104	699	536	300	364
構成比	100.0	1.8	4.2	6.7	28.0	17.3	15.4	9.8	7.5	4.2	5.1
佐 賀	83	-	5	9	30	10	15	7	3	1	3
構成比	100.0	0.0	6.0	10.8	36.1	12.0	18.1	8.4	3.6	1.2	3.6

(厚生労働省「医療施設調査」)

- 地域医療構想をはじめ、循環器系疾患や救命救急など県内の医療連携体制を構築するうえでは、民間医療機関が占める割合が高く、1病院当たりの規模が小さい佐賀県の特徴を踏まえた検討が重要です。

**5 医療機関以外の状況**

医療機関以外で、医療計画に係る機関数等は、以下のとおりです。

1. 薬局数

各年度3/31時点

圏域	2017	2018	2019	2020	2021	2022
県全体	525	524	515	506	503	511
中部	244	240	234	229	230	233
東部	71	71	70	69	68	69
北部	77	79	79	79	78	79
西部	38	38	38	36	35	37
南部	95	96	94	93	92	93

2. 訪問看護ステーション数

各年度3/1時点

圏域	2017	2018	2019	2020	2021	2022
県全体	74	80	92	98	104	113
中部	29	31	38	43	44	48
東部	18	17	18	19	22	25
北部	7	9	10	10	10	11
西部	8	8	9	10	9	9
南部	12	15	17	16	19	20

### 3. 介護老人保健施設数・定員数

各年度3/1時点

圏域	2017		2018		2019		2020		2021		2022	
	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)
県全体	41	2936	41	2936	41	2936	41	2936	41	2936	41	2936
中部	18	1286	18	1286	18	1286	18	1286	18	1286	18	1286
東部	4	270	4	270	4	270	4	270	4	270	4	270
北部	7	440	7	440	7	440	7	440	7	440	7	440
西部	3	240	3	240	3	240	3	240	3	240	3	240
南部	9	700	9	700	9	700	9	700	9	700	9	700

### 4. 有料老人ホーム数・定員数

各年度7/1時点

圏域	2017		2018		2019		2020		2021		2022	
	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)	施設数	定員(人)
県全体	192	5297	217	5828	239	6288	246	6484	249	6549	279	7259
中部	97	2483	106	2725	111	2845	114	2895	114	2895	119	3030
東部	29	881	30	923	33	971	33	956	34	987	36	1030
北部	28	732	29	736	34	832	36	901	36	901	47	1208
西部	11	484	16	546	17	575	17	575	17	575	17	576
南部	27	717	36	898	44	1065	46	1157	48	1191	60	1415

### 5. サービス型高齢者住宅戸数

圏域	2017	2018	2019	2020	2021	2022
	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
県全体	571	571	571	571	571	571
中部	396	396	396	396	396	396
東部	149	149	149	149	149	149
北部	0	0	0	0	0	0
西部	11	11	11	11	11	11
南部	15	15	15	15	15	15